

質 問	回 答
◆疾患について	
どのような病気ですか？	これまでに報告されていない新型コロナウイルス(2019-nCoV)に関連する呼吸器感染症といわれています。発熱、咳などの呼吸器症状を認める患者が報告されています。
感染源はどのようなものですか？	感染源については、現在調査中です。武漢市の市場(以下、華南海鮮城)の関係者から多数の新型コロナウイルス肺炎患者が報告されており、野生動物の可能性などが考えられています。
感染経路はどのようなものですか？	現在のところ調査中です。ウイルスに汚染された環境にふれることによる接触感染、患者と濃厚に接触することによる飛沫感染が考えられています。
潜伏期間はどのくらいですか？	現在のところ調査中ですが、同じコロナウイルスのSARSコロナウイルスの潜伏期間は2～10日、MERSコロナウイルスの潜伏期間は2～14日間とされています。厚生労働省の健康観察期間は14日間となっています。
ヒトからヒトへ感染は起きますか？	WHOはヒトからヒトへの感染が発生している可能性があることを表明していますが、現在のところ調査中です。国内の感染者から、ヒトからヒトへ感染は確認されていません。
予防接種はありますか？	現在のところありません。
患者は入院させておかなくてもいいのですか？	医師が必要と判断した場合は、入院して治療を行います。医師が必要ないと判断された場合は、感染予防策を指導して退院となります。退院後は、医療機関で経過観察をします。
治療法はありますか？	コロナウイルスに対する治療薬はありません。症状に応じた治療を行います。

質 問	回 答
◆予防について	
感染しないためにはどうすればよいのですか？	<p>国内で流行しているわけではないのですが、一般的な呼吸器感染症の予防をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな手洗い・咳エチケット(症状がある際はマスクをする)が基本です。</li> <li>・また、十分な栄養と休養、人込みを避けるなども有効です。</li> <li>・発熱や咳などの症状がある人との不必要な接触は避けましょう。</li> <li>・接触をした場合は、十分な手洗いをしましょう。</li> </ul> <p>野生動物に触れない。動物の死体に触れないようにしましょう。</p>
マスクはどのようなものがよいか？	<p>通常のマスクで十分です。 特殊なマスクである必要性はありません。</p>
外出の際、必ずマスクを着用する必要があるのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず着用する必要性はありません。</li> </ul> <p>(マスクは、咳やくしゃみによって周囲へ病原体が広がるのを防ぐため使用するものです)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし込み合っているところなどで(目安としては対面する人との距離が2メートル以内)、咳やくしゃみで唾が直接かからないように、使用するのもよいです。</li> </ul>

質 問	回 答
◆海外渡航について	
出張・旅行などで中国に渡航しても大丈夫ですか	<p>外務省の海外安全情報では、2020年01月23日 にレベル2: 不要不急の渡航中止(感染症) に引き上げられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中国湖北省武漢市</li> </ul> <p>レベル2: 不要不急の渡航は止めてください。(引き上げ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●上記以外の地域</li> </ul> <p>レベル1: 十分注意してください。(継続)</p> <p>外務省 海外安全ホームページをご覧ください。  <a href="https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsputhazardinfo_009.html#ad-image-0">https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsputhazardinfo_009.html#ad-image-0</a></p> <p>海外では、こまめな手洗い、動物に近づかない・触れない、マスクをするなどの一般的な感染対策をこころがけてください。</p>
患者の発生地に渡航してきました。どのように過ごせばよいでしょうか	<p>帰国後最低14日間は発熱、咳、倦怠感などの症状が出現しないか注意して過ごしましょう。</p> <p>症状の出現時には、事前に患者発生地への渡航歴がある旨を事前に連絡し、マスクを着用して人ごみを避けて医療機関を受診しましょう。</p>
患者が発生している地域から職員が帰国したときは登庁させても大丈夫ですか	<p>症状がなければ、通勤・通学・公共交通機関の使用などに制限はありません。</p> <p>発生している地域を出国した日から14日間は、職員が自身の健康状態を確認し(できれば一日2回の体温測定)、発熱や咳などの症状があらわれたら、出勤を見合わせてください。</p> <p>受診をする際は、事前に医療機関に連絡し、患者が発生している地域への滞在歴があることをつたえ、マスクをして受診してください。受診の際は、タクシーや公共交通機関の利用はできるだけ避けてください。</p>

質 問	回 答
◆受診について	
<p>患者の発生地に渡航してきました。 発熱や咳などの症状が出てきた場合、 どこの医療機関に行ったらいいですか？</p>	<p>医療機関の制限はありません。 受診の際はタクシーや公共交通機関の利用は極力避けていただきたいので、徒歩や自家用車などで行ける範囲の医療機関でご検討ください。 なお、受診の前に、医療機関に連絡し、患者が発生している地域への渡航歴があることを伝え、マスクを着用して受診してください。</p>
<p>〇〇という症状がある。 新型コロナウイルスだろうか？</p>	<p>〇〇の症状を示す病気はいろいろあるので、お話だけではわからない。 お近くの医療機関にご相談ください。</p>
<p>検査はどこで行っていますか？</p>	<p>医療機関が患者を診察し新型コロナウイルスの感染を疑った場合は、医療機関が保健所などに相談し、この度のコロナウイルス感染症の検査が必要となった際には国立感染症研究所で検査が行われます。</p>

質 問	回 答
◆発生状況について	
最新の情報はどこで入手できますか？	<p>厚生労働省            &gt; 中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎の発生について  <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html</a></p> <p>東京都感染症情報センター            Top - 疾患名で探す(類型別) - 新型コロナウイルス関連肺炎に関する情報  <a href="http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/2019-ncov/">http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/2019-ncov/</a></p>
日本の発生状況を教えてください？	<p>都内では、1月24日、武漢市に滞在歴がある患者が1人確認されました。            東京都以外では、神奈川県で1名、武漢市に滞在歴のある患者が確認されています。</p>
◆国の取り組みについて	
国はどのような取り組みをしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検疫所でサーモグラフィを用いて発熱などの確認。</li> <li>・武漢市からの航空便では症状や武漢市での行動歴などの質問票を事前に配布し、検疫官が確認。</li> <li>・武漢市及び上海市からの航空便では機内アナウンスで自己申告の呼びかけ。</li> <li>・武漢市及び上海市からの航空便では、体調不良時の申し出、国内滞在中の留意事項を記載した健康カードを機内で配布。</li> <li>・濃厚接触者の健康監視。</li> </ul>